

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 2月22日更新

事務事業名		図書館協議会運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会	課長名	岐部 則夫
	施策	21 生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	坂本 浩一郎
	施策の柱	66 学習の啓発				所属班	図書館班	(内線)	2531
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番11177	根拠法令	図書館法第14条・16条及び合志市図書館条例第16条	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市民の文化及び教養の向上を図るための図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館運営業務について館長に対し、意見を述べる機関として設置。図書館開館に伴い、平成6年に図書館条例が設置され諮問機関として実施している。
【業務の流れ】	図書館条例に基づき委員を選任、図書館協議会を開催し図書館の運営について委員から意見を聴取する。
【主な予算費目】	報酬、費用弁償（図書館協議会委員）
【意見や要望】	学校や保育園・幼稚園との連携、地域との係わり合い。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
図書館協議会を3回開催した。		図書館協議会を3回開催予定。(指定管理者制度への移行について協議)	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 図書館協議会の開催回数	回	協議会の回数減による減額	
イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
図書館協議会委員	人	→ ア 図書館協議会委員数	
イ		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
図書館の運営体制を強化できる	件	→ ア 協議会での意見の数	
イ		→ イ	
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 回		2	5	5	3	3			
	イ									
② 対象指標	ア 人		12	0	12	12	12			
	イ									
③ 成果指標	ア 件		42	0	20	21	20			
	イ									
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	98	225	296	136	178		
	人件 費	(A) 事業費計	千円	98	225	296	136	178		
		(A)のうち指定経費	千円	63	141	186	85	112		
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0		
		正規職員従事人数	人	6	6	4	6	0		
人件 費	延べ業務時間	時間	200	374	60	351	0			
		(B) 人件費計	千円	796	1,490	239	1,303	0		
	トータルコスト(A)+(B)		千円	894	1,715	535	1,439	178		

事務事業名	図書館協議会運営事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度的事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 管理運営方針が変わったため、会議開催の準備に時間がかかったから。
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 図書館運営に意見を聴く機関が他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 図書館運営事業について諮問し、意見を聴く機関のため、公正・公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

協議会の意見を反映し、利用者サービスにつながった。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							